



えすぺらんさ

きぼう

うどん会は大盛況！

10日（土）に、第二アリアンサ日本語学校主催のうどん会がありました。朝の7時半から準備が始まりました。午前中は大雨で、このまま夜まで雨が続けば、お客さんの数が少なくなるのではと心配しましたが、天候は午後には回復し、ほっとしました。

うどん会は6時半からのスタートでした。ブラジルでは晩ご飯の時間は8時ごろになることもあるので、まだ人は来ないだろうと思っていました。ところが、まだ時間になっていないのに、駐車場に車が入ってくるではありませんか。その後は、どんどん人が増え、あっという間に用意していた席が埋まりました。

今年は、12日（月）が祝日ということで、3連休になっており、家族が里帰りしていたということもあって、近郊からたくさんの方々が足を運んでくださいました。途中、うどんにのせる天ぷらが足りなくなり、作り足したほどでした。

婦人会の方々と一緒に手作りしたお饅頭もかりんとうも完売。すしも完売。「今年の第二のうどんは特においしいね」という高評価もいただきました。

みなさん、本当にありがとうございました。



饅頭づくり



うどんづくり



↑ 鳥取県出身の中尾さんの奥さん。

肉の味付け担当です



これ、食べられるの？

先日、日本語学校の生徒が、緑色をした細長い棒のようなものを持ってきました。

「先生、これどうぞ。」と言うので、「ありがとう。」と受け取ったものの、思わず「なにこれ？」と聞いてしまいました。

これは、「インガ」というもので、木からぶら下がっているのだそうです。中に実が入っていますが、この食べ方がまた変わっています。両端をもって、ぎゅっと雑巾を絞るようにねじると、白い実が写真のように出てきます。この白い部分を食べるというので、恐る恐る一口。甘みはありますが、まるで綿を食べているようで、なんとも不思議な体験でした。

錢太鼓2つ分の長さ



まるで巨大な
豆のよう…



種は
石にそっくり!!

